

社会的連帯経済が目指す 新しい社会像—徹底“対論”

オンライン開講
参加費無料

1 デジタルテクノロジーとSSE運動の新しい展開

4月26日 (土) 13:10~16:40

栗本昭 (日本協同組合研究機構特別研究員)
Mai Ishikawa Sutton

(在カリフォルニア州連帯経済活動家/オンラインマガジン“COMPOST”共同創業者)

生協運動の立場から日本の協同組合を国際的に発信しつつ、国際協同組合同盟のアイデンティティ諮問グループCIAGの委員も務める栗本昭氏と、連帯経済の実践者であり“デジタルコモンズ”をテーマとしたオンライン雑誌を刊行している在カリフォルニアの若手社会運動家Mai Ishikawa Sutton氏の二人が、現代のテクノロジーの発展と社会的連帯経済の運動が結びつく新しい展開の可能性について議論する。

2 SSEを加速させる“テリトリーオ”戦略

5月31日 (土) 13:10~16:40

木村純子 (法政大学経営学部教授)
幡谷則子 (上智大学外国語学部教授)

SSE発展戦略のキーワードとしてGSEFダカール大会でも話題となった「テリトリーオ」の概念を深め、その可能性に迫る。イタリアや日本のフードシステムへのテリトリーオ実装を試みてきたマーケティング研究者木村純子氏と、コロンビアにおける連帯経済と平和構築を研究する幡谷則子氏との対論。南欧・中南米というSSE先進地での経験を活かしつつ、日本におけるSSEの発展を考える。

3 特別対談：地方創生とSSE

6月21日 (土) 13:10~16:40

高崎真一 (ILO駐日代表)
尾原浩子 (日本農業新聞記者)

ILO駐日事務所から高崎代表を迎える特別対談第4弾。本年度は日本農業新聞記者として全国の農村を歩きながら「若者力」や「農山村の再生」をテーマに考え続けてきた尾原浩子氏との対論。日本におけるSSEの未来の芽を地方創生の動きのなかで考える。



QRコードからも申込可能です。

社会的連帯経済(SSE)は、協同組合や共済団体などが中心となって多様な経済主体と連携しつつ新しい持続可能な経済社会の構築を目指す国際的な連帯運動です。法政大学連帯社会インスティテュート協同組合プログラムでは、SSEについて学び、国内での実践を広げるためのオムニバス講義をオンラインライブにて一般開放しています。皆様のご参加をお待ちしております。ご参加にあたり、以下のWEBフォームより事前申込みが必要となります。ぜひ興味をお持ちの方にご周知いただき、奮ってご参加ください。

<https://ws.formzu.net/dist/S38265050/>